

## 特別賞

### 生物多様性について

赤坂中学校 加藤 早奈恵

この地球上では、人間だけでなく動物や植物などいろいろな種類の生物がつながりあって生きています。また、私たちの暮らしは、さまざまな生物のめぐみに支えられています。では、この生物がつながっているという生物多様性とは一体どういうものなのでしょう。

生物多様性とは、生態系・生物群系または地球全体に、多様な生物が存在していることを表しています。生物多様性は、三つに分けることができます。まず一つ目は、生態系の多様性です。これには、森林・里地里山・河川・湿原・干潟・サンゴ礁などいろいろなタイプの自然があります。二つ目は種の多様性です。これは、動植物から細菌などの微生物にいたるまで、いろいろな生きものがいます。三つ目は、遺伝子の多様性です。同じ種でも異なる遺伝を持つことにより、形や模様、生態などに多様な個性があります。

地球には、植物や鳥、昆虫、魚、土の中の微生物まで五百万種から三百万種もの生き物が存在するといわれています。現在わかっている地球上の生物の種は百六十四万二千八十九種。そのうち四万四千八百二十八種を調べたところ、約四パーセントに当たる一万六千九百二十八種が絶滅の

危機にあることがわかりました。このような状況により、現在は恐竜の絶滅以来の第六の大絶滅時代にあると言われていています。しかも、一年間に約四万種といわれる現在の絶滅のスピードは、恐竜時代の絶滅速度よりはるかに速いのです。こうした生物種の減少の原因のほとんどが、開発や乱獲、外来種の持ち込みなど人間の活動にあると言われていています。生物多様性は私たちの生活とは関係がないと思っ

てはいませんか。その考えはまちがっています。実は、生物多様性は私たちの暮らしと密接にかかっています。例えば、果物や野菜はハチが受粉してくれています。おいしい水が飲めるのも、森が水を涵養しろ過ぎてくれないからです。森は洪水や気候も調節してくれます。人間はこうした生物多様性の恵みなしには生きていけません。生物多様性が失われれば、食料危機や水不足になったり、自然資源を持続可能に利用できなくなる恐れがあります。

すべての生き物はつながりあって生きており、思わぬところで私たちの生活に影響を与えるかもしれないのです。人間は、たくさんの生き物からの恵みを受けて生きています。私たちが毎日食べているご飯や野菜、お肉などすべて生き物の恵みです。だから私は、ご飯を食べるときに食べ物に感謝をこめて「いただきます」をしたり、身近な生き物を大事にすることが大切だと思います。生物多様性のために自分たちが出来ることをしっかりとやっていきたいです。